

教科	国語	科目	現代の国語			単位数	2 単位
学科	工業科	履修学年	1 学年	コース		必修・選択	必修
教科書	『改訂版 高等学校現代の国語』数研出版						
副教材等	『新訂版 常用国語便覧』浜島書店 『常用漢字ダブルクリア 五訂版』尚文出版						

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①自己実現に向けて主体的に行動し、目標達成のために継続的に粘り強く取り組む能力と態度を育成する。 ②社会の一員として自己の責任を自覚し、他者と協働しながらより良い社会の実現を目指す態度を育成する。 ③人権、差別問題等を正しく理解し、適切な行動をとることができる能力と態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①進路目標に応じた情報収集や分析等により、生徒に現状と課題を認識させ、進路実現への意欲を高め、自主的な学習活動を促す。 ②ICTの活用による学習効果を高める工夫や積極的な授業改善により、生徒が「より深く分かる」授業を展開する。 ③探究活動を通じて、広い視野で物事を捉え思考する能力、課題解決に主体的に取り組む姿勢を育成する。また、発表等の機会を活用し、企画力やプレゼンテーション能力等の育成を図る。 ④人権に関する課題や多様性について理解を深め、課題を自らの事として捉え、人権を尊重する行動がとれる資質を身に付ける。 ⑤生徒の人格を尊重した丁寧な指導や、内面に寄り添った支援等により、自律的な行動への変容を促し、自己指導力を向上させる。

学習目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
指導の重点		(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、現代社会に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や正しく資料を読み取る力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって俯瞰的に社会に対する関心を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
学習計画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)		評価方法	
	1 学期 (20)	「風が通るとき」(田中真知) 1. 話すこと 聞くこと(2) 2. 書くこと(1) 3. 読むこと(1)	・筆者の述べる風通しのよい状態について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・人とのつながりについて述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめる。 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明する。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書く。		b 定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。 a a a a c c c	

		私の中にある生命の歴史（中村桂子） 2. 書くこと(1) 3. 読むこと(1)	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・自己と自然について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・対立する論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。	b b a a a c c	
		水の東西（山崎正和） 1. 話すこと聞くこと(1) 2. 書くこと(2) 3. 読むこと(2)	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめる。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明する。	b b b a a a c c c	
		倫理と道徳（品川哲彦） 1. 話すこと聞くこと(1) 2. 書くこと(1) 3. 読むこと(2)	・対比関係を用いながら、筆者の主張について論じる叙述の方法を把握する。 ・倫理と道徳を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	b b b a a a c c	
		聞くトレーニング情報の聞き取り方 1. 話すこと聞くこと(2)	・情報の聞き取り方の特徴を理解する。 ・相手の主張を明確に聞き取る方法を理解する。 ・積極的に聞き取り方の違いを理解し、学習課題に沿って話し合う。 ・積極的に場の状況に応じて聞き取り方を選び、学習課題に沿って使う。	b b c c	
		文章トレーニング1 文章構造を理解する 文章トレーニング2 要約する 2. 書くこと(3)	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・要約の表現技法を理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書く。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぶ。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	a a a c c c	

2 学期 (24)	「わらしべ長者」の経済学（梶井厚志） 1. 話すこと聞くこと(1) 2. 書くこと(3) 3. 読むこと(1)	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・一般論と主張の違いに注目し、筆者の主張を理解する。 ・「わらしべ長者」に関する経済学的視点から書かれた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・対立する論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。	b b b a a a c c	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。
	「異文化を理解する」とは（松村圭一郎） 1. 話すこと聞くこと(2) 2. 書くこと(2) 3. 読むこと(1)	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・一般論と主張の違いに注目し、筆者の主張を理解する。 ・異文化理解に関する文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・対比される一般論を述べることによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。	b b b a a a c c	
	実用の文章 1 コミュニケーションの手段を考える 2. 書くこと(2) 3. 読むこと(1)	・コミュニケーションに関わる図と文章から必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 ・図と文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・図と文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。	b b c c	
	論理的ということ（野矢茂樹） 1. 話すこと聞くこと(2) 2. 書くこと(3) 3. 読むこと(1)	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 ・論理の本質についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとする。	a b b c	
	話すトレーニング 説得力のある話し方 1. 話すこと聞くこと(2)	・聞き手にとってわかりやすい話し方の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合う。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使う。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使う。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表する。	b b c c c c	
	文章トレーニング3 比較する 文章トレーニング4 論証する 文章トレーニング5 意見文を書く 2. 書くこと(3)	・論証におけるルールを理解する。 ・比較・類推の用法を理解する。 ・説得力のある文章の書き方を理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書く。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	a a a c c	

3 学期 (20)	ものごと ば（鈴木孝夫） 1. 話すこと聞くこと(2) 2. 書くこと(3) 3. 読むこと(1)	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理する。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告する。	b b b a a a a c c	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。
	政治的思考 （杉田敦） 探求の扉 1. 話すこと聞くこと(2) 2. 書くこと(3) 3. 読むこと(1)	・二つの文章を読み比べ、共通点・相違点を整理してそれぞれの主張を理解する。 ・実際の対話を書かれた文章を読み、対話の着地点・主張を理解する、 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・逆説やたとえを用いて展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理する。 ・政治に関する文章を、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告する。	b b a a a c c	
	実践1 レポート 2. 書くこと(4)	・レポートについて学び、適切な形式を理解する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 ・積極的に調査方法を吟味し、自身の主張にあった方法を活用する。 ・構成に注意して、論理的な文章にまとめる。	b b c c	
	実践2 プレゼンテーション 1. 話すこと聞くこと(3) 2. 書くこと(1)	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行う。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話す。 ・協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫する。 ・積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価する。	a a c c c c	
	1. 話すこと聞くこと(20 時間) 2. 書くこと(32 時間) 3. 読むこと(12 時間) 計 64 時間（55 分授業）			
評価の観点 の趣旨と評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 [評価方法] 以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 [評価方法] 以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、振り返りシートなどから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 [評価方法] 以上の観点を踏まえ、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%を、B50%未満をCと評価する。	